

原安第 6 6 1 号

令和 7 年 3 月 5 日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第 5 条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第 5 条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成 1 8 年 3 月 2 6 日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 玄海原子力発電所 3 号機の長期施設管理計画認可申請の補正について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2 0 2 5 年 2 月 1 7 日付け 立コミ本第 4 1 9 号〕・・・別添 1

2 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2 0 2 5 年 2 月 2 8 日付け 立コミ本第 4 3 0 号〕・・・別添 2

3 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名
2 0 2 5 年 3 月 3 日付け 立コミ本第 4 4 1 号〕・・・別添 3



別 添 1

立コミ本第419号

2025年2月17日

佐賀県知事

山口 祥義 様

九州電力株式会社

代表取締役 池 辺 和 弘
社長執行役員



玄海原子力発電所3号機の長期施設管理計画認可申請の補正について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2024年8月30日付け立コミ本第200号にてご連絡しておりました、玄海原子力発電所3号機の長期施設管理計画認可申請書について、これまでの審査内容を反映し、別紙のとおり、本日、原子力規制委員会へ補正書を提出しました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

主な補正内容

2024年8月30日に提出した、玄海原子力発電所3号機の長期施設管理計画認可申請について、これまでの国による審査内容を反映した。

【主な補正内容】

- 玄海3号機の原子炉本体（運転開始：1994年3月）よりも長期間使用している雑固体焼却炉建屋（使用開始：1981年11月）については、使用開始から43年を経過しているため、特別点検を実施することとし、2025年度中に点検結果に基づく技術評価を行うことを長期施設管理計画に記載した。

（参考1）経緯

- ・原子力規制委員会において、原子炉本体よりも長期間使用している共用施設の特別点検については、使用開始からの経過年数を基準として、使用開始から35年以降40年経過までの間に実施することが決定された。
- ・また、すでに40年を経過している特別点検未実施の共用施設については、合理的な期間内に特別点検を実施することとされた。

（参考2）特別点検

- ・運転開始40年時点における設備の劣化状況を詳細に把握する。
- ・原子炉容器やコンクリート構造物などの取替えが難しい設備について、通常行っていない点検方法も活用して点検する。
- ・運転開始後35年以降40年経過までの間に実施する。

以上

立コミ本第430号
2025年2月28日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池 辺 和



協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月 報) |
| 2. 発 電 実 績 | (月 報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月 報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月 報) |
| 5. 環境放射能の測定結果
モニタリングポスト | (月 報) |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月 報) |
| 7. 放射線管理の状況 | (四半期報) |

以 上

環境保全測定報告書

2025 年 1 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号 機	玄海 3 ・ 4 号 機
	0.07	0.07

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号 機					玄海 3 ・ 4 号 機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ)*1	浮遊物質 量 (mg/ℓ)*2	油 分 (mg/ℓ)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ)*1	浮遊物質 量 (mg/ℓ)*2	油 分 (mg/ℓ)*2
1月8日	7.5	<0.5	—	—	1月8日	7.4	1.2	—	—
1月15日	7.5	1.1	—	—	1月15日	6.9	1.2	—	—
1月22日	7.6	0.9	0.6	検出せず	1月22日	7.4	1.2	0.1	検出せず
1月29日	7.4	0.8	—	—	1月29日	7.3	0.8	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)
1月10日	14.0	14.0	検出せず	14.4	21.4	検出せず	14.4	21.1	検出せず
1月20日	13.7	13.7	検出せず	14.1	21.1	検出せず	14.1	20.8	検出せず
1月30日	12.8	12.8	検出せず	13.3	20.3	検出せず	13.3	20.0	検出せず

発 電 実 績

2025年1月分

九州電力株式会社

号機		※1	※2				
		1 号 機	2 号 機	3 号 機	4 号 機	発電所合計	
最 大 出 力		kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000
発 電 日 数		日	—	—	31	31	31
発 電 時 間 数		時間	—	—	744	744	744
電 力 量	発 電 端	10 ³ kWh	—	—	898,033	888,930	1,786,963
	所 内 消 費	10 ³ kWh	1,416	1,204	35,111	33,828	71,559
	送 電 端	10 ³ kWh	-1,416	-1,204	862,922	855,102	1,715,404
最 大 電 力		kW	—	—	1,210,000	1,197,000	2,406,000
平均最大電力		kW	—	—	1,208,548	1,195,935	2,404,065
平 均 電 力		kW	—	—	1,207,034	1,194,798	2,401,832
負 荷 率		%	—	—	99.8	99.8	99.8
利 用 率		%	—	—	102.3	101.3	101.8

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2025年 1 月分 九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)				月末在庫量 (払出用)				熱 消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	33,075 (87)	324	326	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	42,466 (113)	384	487	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	64,681 (168)	1,414	595	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	140,223 (368)	2,122	1,408	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

2025年 1 月分

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 入 量		月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)				月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)	
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)				
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(189)	72,769	822	680	0	0
3.40															(177)					
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,880	754	729		0	0
															(84)					
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,261	1,168	159		0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	172,910	2,744	1,568	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了
(注) () 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

2025年 1 月分

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 量			月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)			月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量				月 末 在 庫 量 (払出用)			熱 消 費 量 (10^9 kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)		
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)				
	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(65)	29,209	233	205	0	0
2.00																(18)	7,828	59	91	0	0
3.50	0	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(646)	278,191	3,156	3,127	9,109	111
4.10	0	0	—	(133)	58,973	1,243	84,557	1,583	730	27,787	0	0	0	0	0	(36)	14,769	22	1,148	0	0
(MOX) 4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合 計	0	0	0	(133)	58,973	1,243	84,557	1,583	730	14,054	0	0	0	0	0	(765)	329,996	3,470	4,571	9,109	111

(注) () 内は燃料集合体数を示す。
* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

2025年 1 月分

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱 消費 量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	ウラン の 量 (kg)	プルトニウム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	プルトニウム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10^3 kWd/t)	ウラン の 量 (kg)	ウラン 235 の 量 (kg)	プルトニウム の 量 (kg)		
2.00	0	0	(1) 453	4	0	0	0	0	0	0	0	0	(64) 28,765	195	220	0	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(64) 28,186	286	304	0	0
4.10	0	0	(137) 59,674	873	85,180	1,809	672	23,695	0	0	0	0	(850) 366,334	3,903	4,188	9,107	111
合計	0	0	(138) 60,127	877	85,180	1,809	672	9,310	0	0	0	0	(978) 423,286	4,384	4,712	9,107	111

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2025年1月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
放出実績なし	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
292 (-70)	40,311

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2025年1月分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放 射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

放 射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 1 月 分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

環境放射能測定結果

(2025 年 1 月分)

2025 年 2 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2025 年 1 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	25	24	25	16	25	24	25
2	25	24	25	17	24	24	24
3	25	24	25	18	25	24	24
4	25	24	24	19	24	24	24
5	28	24	25	20	25	24	24
6	32	24	27	21	25	24	25
7	30	24	26	22	25	24	25
8	36	25	26	23	25	24	25
9	29	24	26	24	25	25	25
10	26	24	25	25	26	24	25
11	26	24	25	26	25	24	25
12	25	24	24	27	34	25	26
13	25	24	24	28	31	24	26
14	25	24	25	29	27	24	25
15	28	25	26	30	25	24	24
				31	25	24	24

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 1 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	22	22	16	23	22	22
2	23	22	23	17	22	22	22
3	23	22	22	18	22	22	22
4	23	22	22	19	22	21	22
5	25	22	22	20	23	22	22
6	29	22	24	21	23	22	22
7	27	22	24	22	23	22	23
8	33	22	24	23	23	22	22
9	26	22	23	24	23	22	23
10	23	22	22	25	23	22	23
11	23	22	22	26	23	22	22
12	22	22	22	27	31	22	24
13	22	22	22	28	27	22	24
14	23	22	22	29	24	22	23
15	25	22	23	30	22	22	22
				31	23	22	22

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 1 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	23	24	16	24	23	24
2	24	23	24	17	24	23	23
3	24	23	24	18	24	23	23
4	24	23	23	19	24	23	23
5	27	23	24	20	24	23	23
6	31	24	26	21	24	23	24
7	30	24	25	22	24	23	24
8	36	24	25	23	24	23	24
9	29	24	25	24	24	23	24
10	24	23	24	25	25	23	24
11	25	23	24	26	24	23	24
12	24	23	23	27	34	24	25
13	24	23	23	28	31	23	26
14	24	23	24	29	27	23	24
15	26	24	24	30	24	23	23
				31	24	23	24

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2025年1月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）								
除染準備作業	■								
装置設置		■							
除染		■							
片付け（装置撤去）		■							
(2)汚染状況の調査									
線量当量率測定	■	■	■	■	■	■	■	■	■
試料採取	■	■	■	■	■	■	■	■	■
輸送・分析・評価		■	■	■	■	■	■	■	■
(3)汚染のない設備の解体撤去	■	■	■	■	■	■	■	■	■
高圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
低圧給水加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
タービン建屋内機器保温材	■	■	■	■	■	■	■	■	■
湿分分離加熱器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ドラムタンク	■	■	■	■	■	■	■	■	■
グラント熱気復水器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
復水ブースタポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
復水脱塩装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
復水フィルタ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
スチームコンバータ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
SGBD熱回収装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
塵芥搬送装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）	■	■	■	■	■	■	■	■	■
バケット吊り装置	■	■	■	■	■	■	■	■	■
スクリーン洗浄ポンプバックアップポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
脱気器／湿分分離器逃し弁	■	■	■	■	■	■	■	■	■
主／所内変圧器	■	■	■	■	■	■	■	■	■
循環水ポンプ	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ロータリースクリーン	■	■	■	■	■	■	■	■	■
(4)使用済燃料搬出									
(5)新燃料搬出									

2 今月の作業実績（注2）

- (1) 系統除染
・実績なし（作業終了：2017.7.13～2018.12.11）
- (2) 汚染状況の調査
・実績なし（作業終了：2017.8.29～2022.3.18）
- (3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	脱気器／湿分分離器逃し弁解体撤去工事 ・2024.5.31～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	130.9	1300.7	130.9	1300.7	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	156.9	0	156.9	0

(4) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	64
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	6,425	0	0	6,425
固体廃棄物 (本)	1	790	0	0	790
均質固化体	0	24	0	0	24
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	1	766	0	0	766

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2025.1.31] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	200.57

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m^3)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約 5.2 m^3 】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m^3)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m^3)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、2000ドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、2000ドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位: mSv 、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2025年1月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査						
線量当量率測定						
試料採取						
輸送・分析・評価						
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日） A,B湿分分離加熱器 RO装置	タービン建屋内機器保固材 油計量タンク 塵芥搬送装置 バケツ吊り装置	復水器真空ポンプ	高圧給水加熱器 C,D湿分分離加熱器 脱気器/湿分分離器通し弁 スチームコンバータ 復水貯留装置（中和槽・排水槽排水設備含む） 復水フィルタ SGBD熱回収装置 薬品ヤード	主/所内変圧器 循環水ポンプ ロータリースクリーン 補給水処理設備 屋外用空気圧縮機 液体窒素供給装置	
(3)使用済燃料搬出						
(4)新燃料搬出						

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2020.8.17～2023.9.22）

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	液体窒素供給装置解体撤去工事 ・2024.1.29～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	1405.4	0	1405.4	0
コンクリート類	0	137.8	0	137.8	0
その他	0	180.3	0	180.3	0

(3) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	254
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	168
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	28
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	84
		搬出量 (前月末まで)	84
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	11	543	0	16	527
均質固化体	0	36	0	0	36
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	11	507	0	16	491

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1~2025.1.31] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	11.53

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2020.3.18）以降の2号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

放 射 線 管 理 の 状 況

2024年度 第3四半期分

九州電力株式会社

工場又は事業所	名 称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所 在 地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村字浅湖 4112 の 1

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の種類別の放出量

(単位：Bq)

測定箇所等		種類	全希ガス	^{131}I	^{133}I	全粒子状物質	^3H
排気口又は監視設備	1号炉原子炉格納容器排気監視設備		ND	ND	ND	ND	1.1×10^9
	1号炉原子炉補助建屋排気監視設備		ND	ND	ND	ND	8.8×10^9
	2号炉原子炉格納容器排気監視設備		ND	ND	ND	ND	2.2×10^8
	2号炉原子炉補助建屋排気監視設備		ND	ND	ND	ND	8.1×10^9
	3号炉排気監視設備		ND	ND	ND	ND	2.0×10^{11}
	4号炉排気監視設備		ND	ND	ND	ND	1.3×10^{11}
	雑固体焼却設備排気監視設備		ND	ND	ND	ND	1.1×10^6
	燃焼式雑固体廃棄物減容処理設備排気監視設備		ND	ND	ND	ND	1.9×10^8
	雑固体溶解処理設備排気監視設備		ND	ND	ND	ND	ND
合計			ND	ND	ND	ND	3.5×10^{11}
年間放出管理目標値			1.0×10^{15}	3.0×10^{10}	—	—	—

(備考)

放射性気体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm³) に排気量 (cm³) を乗じて求めている。なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示。検出限界濃度は以下のとおり。

- ・全希ガス： 2×10^{-2} (Bq/cm³) 以下
- ・ ^{131}I ： 7×10^{-9} (Bq/cm³) 以下
- ・ ^{133}I ： 7×10^{-8} (Bq/cm³) 以下
- ・全粒子状物質： 4×10^{-9} (Bq/cm³) 以下 (^{60}Co で代表した)
- ・ ^3H ： 4×10^{-5} (Bq/cm³) 以下

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の種類別の放出量

(単位：Bq)

測定箇所等		種類	全核種 (^3H を除く)	核種別					
				^{51}Cr	^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{131}I
排水口又は監視設備	1, 2号炉排水口		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	3, 4号炉排水口		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
合計			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
年間放出管理目標値			7.5×10^{10}	—	—	—	—	—	—

(続き)

種 類 測定の箇所等		核 種 別					^3H
		^{137}Cs	^{89}Sr	^{90}Sr	アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質	
排水口又は排水監視設備	1, 2号炉排水口	ND	ND	ND	ND	ND	1.1×10^{10} (-)
	3, 4号炉排水口	ND	ND	ND	ND	ND	※1 9.5×10^{12} (ND)
合 計		ND	ND	ND	ND	ND	※1 9.5×10^{12} (ND)
年間放出管理目標値		-	-	-	-	-	-

(備考)

放射性液体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排水中の放射性物質の濃度 (Bq/cm³) に排水量 (cm³) を乗じて求めている。なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示。検出限界濃度は以下のとおり。

- ・放射性液体廃棄物 (^3H を除く) : 2×10^{-2} (Bq/cm³) 以下 (^{60}Co で代表した)
- ・ ^{89}Sr 、 ^{90}Sr : 7×10^{-4} (Bq/cm³) 以下 (^{90}Sr で代表した)
- ・アルファ線を放出する放射性物質 : 4×10^{-3} (Bq/cm³) 以下
- ・ベータ線を放出する放射性物質 : 4×10^{-2} (Bq/cm³) 以下
- ・2次系 ^3H : 1×10^{-1} (Bq/cm³) 以下

※1 () 内の2次系 ^3H を含む。

(3) 固体状の放射性廃棄物の保管量等

① 固体廃棄物貯蔵庫内の保管量等※1

(本数: 2000 ドラム缶)

放射性廃棄物の種類 量	ド ラ ム 缶			そ の 他	合 計 (本相当)
	均質固化体 (本)	充填固化体 (本)	雑 固 体 (本)	(本相当)	
期首保管量	4,778 (58)	1,909 (0)	25,939 (1,083)	6,845 (104)	39,471 (1,245)
当該期間中の発生量	10 (2)	282 (0)	392 (38)	204 (20)	888 (60)
当該期間中の減少量	0 (0)	0 (0)	145 (0)	125 (0)	270 (0)
施設内減量	0 (0)	0 (0)	145 (0)	125 (0)	270 (0)
施設外減量	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
期末保管量	4,788 (60)	2,191 (0)	※2 26,186 (1,121)	6,924 (124)	40,089 (1,305)
貯蔵設備容量	49,000 本相当				

※1 () 内には当該欄中の数量等のうち、2017年4月19日以降に1号機の廃止措置に伴い発生した放射性固体廃棄物及び2020年3月18日以降に2号機の廃止措置に伴い発生した放射性固体廃棄物の数量(内数)を示す。

※2 イオン交換樹脂2000ドラム缶換算で50本(1000ドラム缶99本)を含む。

② その他の設備内の保管量等※1

放射性廃棄物の種類 量	使用済燃料貯蔵槽			
	制御棒 (本)	プラグングデバイス (本)	中性子源 (本)	バーナブルポイズン ※2 (本)
期首保管量	257 (0)	219 (0)	14 (0)	438 (0)
当該期間中の発生量	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
当該期間中の減少量	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
施設内減量	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
施設外減量	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
期末保管量	257 (0)	219 (0)	14 (0)	438 (0)

(続き)

放射性廃棄物の種類 量	タンク等	蒸気発生器保管庫	
	イオン交換樹脂 (m³)	蒸気発生器 (基)	その他 ※3 (m³)
期首保管量	209 (6)	4 (0)	766 (0)
当該期間中の発生量	0 (0)	0 (0)	0 (0)
当該期間中の減少量	0 (0)	0 (0)	0 (0)
施設内減量	0 (0)	0 (0)	0 (0)
施設外減量	0 (0)	0 (0)	0 (0)
期末保管量	209 (6)	4 (0)	766 (0)

※1 () 内には当該欄中の数量等のうち、2017年4月19日以降に1号機の廃止措置に伴い発生した放射性固体廃棄物及び2020年3月18日以降に2号機の廃止措置に伴い発生した放射性固体廃棄物の数量(内数)を示す。

※2 単体で管理しているバーナブルポイズン及び燃料体と一体的に管理しているバーナブルポイズンの合算。

※3 原子炉容器上部ふた及び炉内構造物を含む。

③ 廃棄物埋設施設への搬出量

(単位: 本)

	均質固化体	充填固化体	合計	搬出先
搬出量	0	0	0	—
累積搬出量	7,400	11,856	19,256	

2 使用済燃料の貯蔵量等

(単位：体)

		期首保管量	期末保管量	発 生 量	搬 出 量
原子炉施設合計		※3 2,517	※3 2,517	0	0
原子炉別内訳	1号機	※1 352	※1 352	0	0
	2号機	※2 422	※2 422	0	0
	3号機	※3 765	※3 765	0	0
	4号機	※4 978	※4 978	0	0

※1：4号機使用済燃料ピットに保管している112体を含む。

※2：4号機使用済燃料ピットに保管している168体を含む。

※3：使用済MOX燃料36体を含む。

※4：3号機使用済燃料ピットに保管している112体を含む。

3 運転状況

	発電所合計	1号機	2号機	3号機	4号機
電 気 出 力	2,360 MW	— MW	— MW	1,180 MW	1,180 MW
発 電 電 力 量	5,299,940 MWh	— MWh	— MWh	2,663,226 MWh	2,636,714 MWh
設 備 利 用 率	101.7 %	— %	— %	102.2 %	101.2 %
運 転 状 況		2015年4月27日 運転終了	2019年4月9日 運転終了	別添—2参照	別添—3参照

記 載 要 領 に つ い て

1. 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状、液体状の放射性物質の種類別の放出量

- ・液体状の2次系トリチウム放出量の計算は、2次系水中のトリチウム濃度に2次系への補給水量を乗じて算出している。
- ・気体状の2次系トリチウム放出量の寄与は、無視できる程小さいと推定される。

(2) 固体廃棄物貯蔵庫内の保管量等

- ・放射性廃棄物の種類の「その他」は、2000ドラム缶詰めしていないものを示す。

(3) 廃棄物埋施設への搬出量

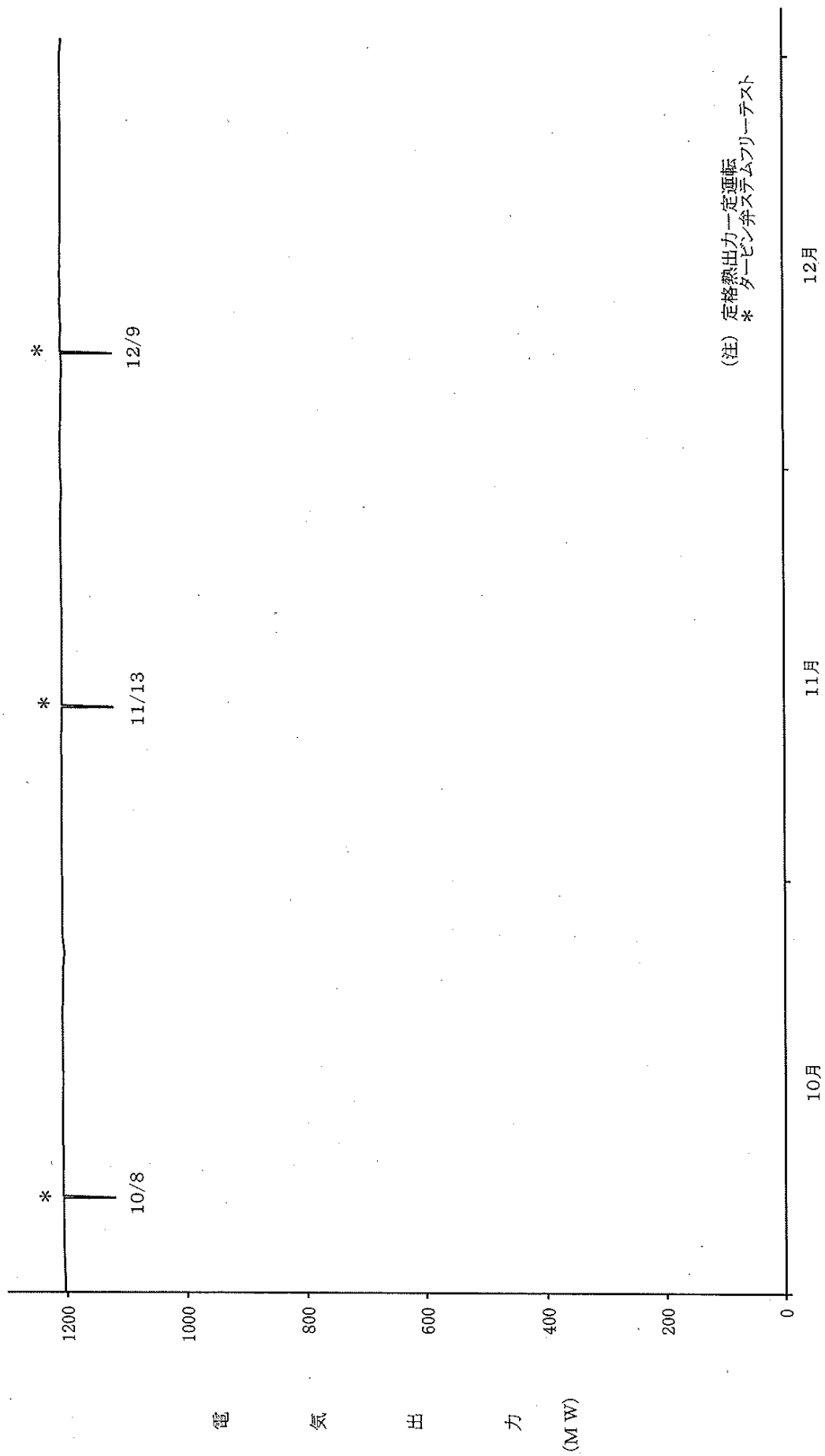
- ・均質固化体及び充填固化体の搬出先は、当該期間中に搬出があった場合に搬出先名称を記載する。
なお、当該期間中に搬出がなかった場合は「－」と記載する。

2. 使用済燃料の貯蔵等

- ・再処理（払出）用燃料在庫について記載する。

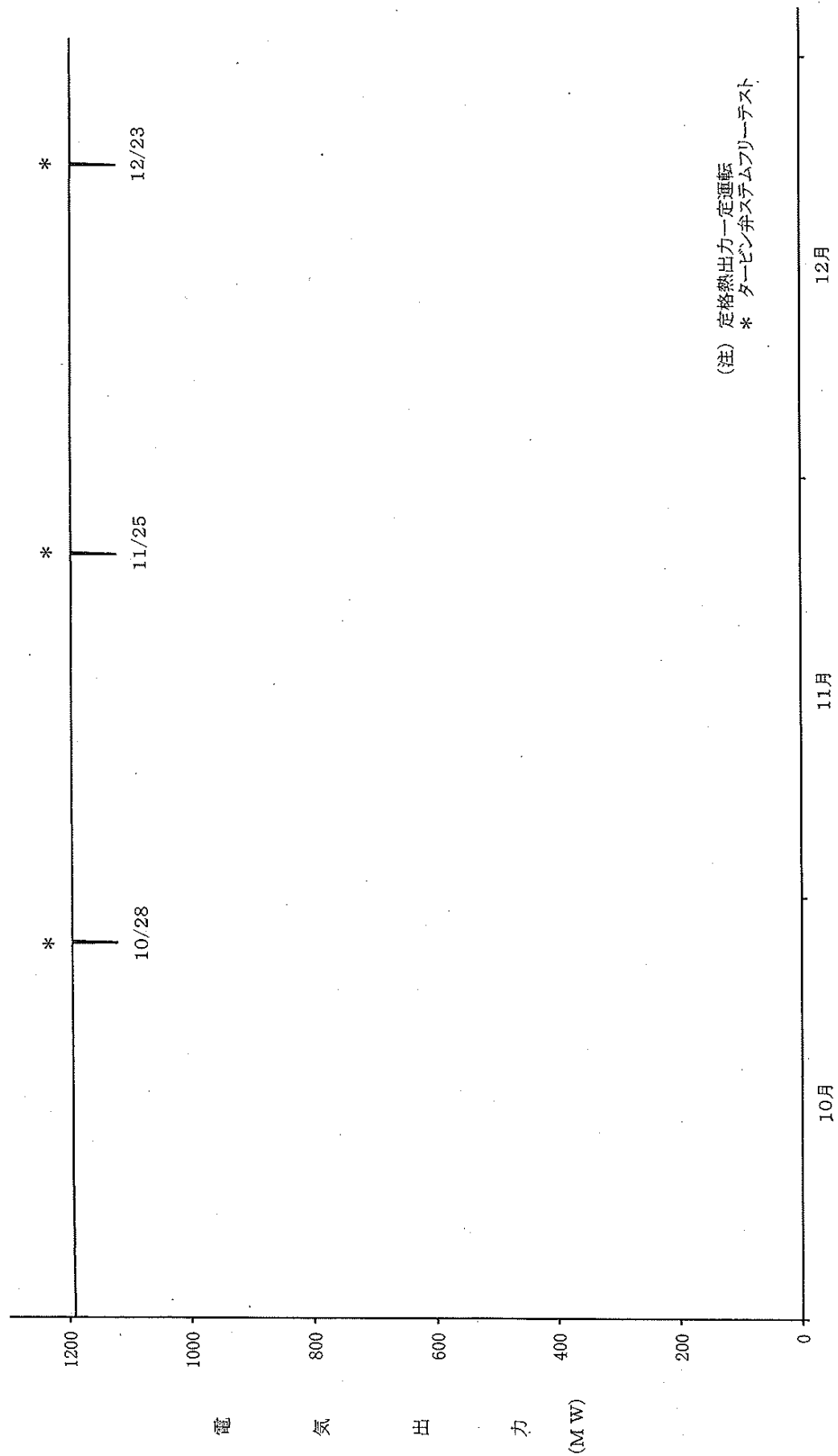
玄海 3 号 機 運 転 状 況

(2 0 2 4 年 度 第 3 四 半 期)



玄海4号機運転状況

(2024年度第3四半期)



別 添 3

立コミ本第441号

2025年3月3日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池辺和

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますので御査収ください。

敬具

報告書内容

1. 核燃料物質の受入状況

(その都度)

以 上

核燃料物質の受入状況

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
受入工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		玄海原子力発電所 第3号炉
受入年月日		2025年2月26日(56体) (三 菱)
受入数量		56体(三 菱:56体)
払出工場又は事業所	名称	三菱原子燃料株式会社
	所在地	茨城県那珂郡東海村大字舟石川622番地1
運搬者名		三菱原子燃料株式会社 (三菱原子燃料(株)製燃料 輸送統括)
化合物又は混合物の名称 及びその形状		二酸化ウラン 燃料集合体 ガドリニア入り二酸化ウラン 燃料集合体
受入の原因		原子炉で燃料として使用するため

(参考資料)

核燃料物質の受入について

2025年2月26日に玄海原子力発電所へ受入れた新燃料に係わる供給当事国は下記のとおりです。

記

1. 原子炉名

玄海原子力発電所 第3号炉

2. 国際規制物資の供給当事国

オーストラリア・フランス・ユーラトム

カナダ・フランス・ユーラトム

フランス・ユーラトム

以 上